

古河電気工業株式会社

<検証の目的>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は、古河電気工業株式会社（以下、組織）より、組織の作成した「2022 年度古河電工グループ環境保全データ報告書 第 3.0 版（2023 年 6 月 23 日）」（以下、報告書）に報告されるエネルギー消費量（以下、エネルギー消費量）に関して第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張するエネルギー消費量の主張に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

<検証の範囲>

検証の範囲は、2022 年度における組織、及びそのグループ企業全体（海外拠点を含む）のエネルギー消費量のうち、購入電力、自家発電電力、購入燃料、購入温熱である。

<算定・検証基準>

検証対象であるエネルギー消費量の特定・計算・監視・報告の基準は、温室効果ガス排出量の定量と報告のための規格である GHG プロトコル及びサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（v2.5）を援用した、古河電工グループ環境保全データ算定報告ガイドラインである。また検証の基準は、ISO14064-3:2019 および ISAE3000 を基にした DNV 検証手順である。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性はエネルギー消費量の算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、報告書に報告されているエネルギー消費量の主張に関して、同社のエネルギー消費量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。なお DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性が無いことを表明する。

場所・日時： 日本・神戸、2023 年 7 月 4 日
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

関根 明
主任検証人

前田 直樹
代表取締役社長



DNV

VERIFICATION STATEMENT

Page 2 of 2

<算定及び検証の対象期間>

エネルギー消費量検証の対象期間は、2022年4月1日から2023年3月31日までである。

<組織境界>

支配力基準 出資比率基準 その他の基準

<検証されたエネルギー消費量の種別>

購入電力 自家発電電力 購入燃料 購入温熱

<検証されたエネルギー消費量>

DNVの検証意見としてエネルギー消費量は、現実性・透明性・測定可能性があるものである。下記消費量はすべて検証済みである。

■ 購入電力	1,066,213 MWh
(うち再生可能エネルギー)	139,096 MWh
■ 自家発電電力	96,023MWh
(うち再生可能エネルギー)	96,023MWh
■ 購入燃料	660,248 MWh
(うち再生可能エネルギー)	0 MWh
■ 購入温冷熱	93 MWh
(うち再生可能エネルギー)	0 MWh
■ エネルギー消費量の合計	1,822,577 MWh
(うち再生可能エネルギーの合計)	235,119 MWh

<検証意見>

- 無限定適正意見
 限定付適正意見
 不適正意見